

「土地改良事業(維持管理)計画書」

只見町土地改良区

目

第1章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第2章 地域の現況	2
第1節 地 形	2
第2節 気 象	4
(1) 一般気象	4
(2) 特殊気象	5
第3節 水利状況	6
(1) 用水状況	6
(2) 排水状況	6
第4節 耕地面積	7
(1) 地区別、田、畑面積	7
(2) 土地所有の状況	7
第5節 地域環境の概況	8
第3章 維持管理計画	9
第1節 目 的	9
第2節 かんがい施設関係	9
(1) かんがい施設の種類、規模、構造 及び維持管理の方法	9
(ア) 用水路	9
(イ) 井堰(頭首工)	10
(ウ) ため池	11
(エ) 揚水機場	11
(2) 配水の時期及び方法	12
(3) かんばつ時における処置	13

次

(4) 他の農業水利団体との関係	13
(5) 制裁規定	13
第3節 排水施設関係	14
(1) 排水施設の種類、規模、構造 及び維持管理方法	14
(2) 排水の時期及び方法	14
(3) 洪水時における処置	14
(4) 他の農業水利団体との関係	14
第4節 その他農用地の保全又は利用上必要な施設関係	14
(1) 維持管理の方法	14
第5節 他の事業との関係	15
(1) 他種水利事業(発電、工業、上水道等)との関係	15
(2) 森林、運輸、漁業との関係	15
(3) 当土地改良区の維持管理事業と治水との関係	15
(4) 地区外上流部又は区域内の住宅工場地域からの 汚水の流入状況及びその影響	15
(5) その他土地改良区と外的環境との関係	15
第4章 環境との調和への配慮	16
第5章 維持管理費	16
第6章 事業効果	17
第7章 他事業との関連	17
第8章 添付図面	17

只見町土地改良区 土地改良事業(維持管理)計画書

第1章 地域及び地積

第1節 地 域

本地域は、福島県の南西部に位置しており、南は南会津郡の南会津町・檜枝岐村、東は大沼郡の金山町・昭和村、北と西は新潟県阿賀町、三条市、魚沼市に隣接している。総面積74,756haで、その94%が森林を占める。森林の大部分はブナ、コナラ、ミズナラ、トチノキなどの広葉樹林である。

地形は会津朝日岳、浅草岳、蒲生岳など周囲を1,000m級の山で囲まれている。一級河川伊南川と尾瀬を水源とする一級河川只見川は6本の支流を集めながら、それぞれ町を南北及び東西に流れており、その流域に集落が点在している。気候は日本海型に属し、日本でも有数の豪雪地帯である。年間の降雪累計は12m、積雪量は3～4mにもおよび、特別豪雪地帯に指定されている。只見町全域はユネスコのMAB(人間と生物圏)計画における豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動を進める国際モデル地域として、平成26年にユネスコエコパークに登録されている。

本地域はその地域特性を生かし、水稻、アスパラガス、花き、夏秋トマトを主体とする農業生産を展開してきており、経営の発展を図るため施設園芸の導入が盛んとなっている。

第2節 地 積

(単位:ha)

地区名	地 積				備 考
	田	畑	その他	計	
只見地区	27.6	1.9	7.0	36.5	第1回計画変更
梁取地区	50.3	3.3	12.3	65.9	当初計画
ただみ南地区	1.7	-	0.5	2.2	塩ノ岐字間丸貝
合計	79.6	5.2	19.8	104.6	

第2章 地域の現況

第1節 地形

本地域は会津朝日岳、浅草岳、蒲生岳など周囲を1,000m級の山で囲まれている。一級河川伊南川と尾瀬を水源とする一級河川只見川は6本の支流を集めながら、それぞれ町を南北及び東西に流れており、その流域に集落が点在している。豪雪地帯かつ急峻な地形であることから、頻繁に雪崩が起きる雪食地形(アバランチシュート)が広範囲に分布する。伊南川や只見川、その支流沿いの平野部に水田及び畑作地域が広がっている。また支流沿いの急峻な地域では、山の斜面に棚田を形成している。

◎只見地区

〔水田土壌〕

土壌統(区)名	土壌番号	該当地目	土 性		泥炭及び黒泥層の有無	砂礫層の有無	グライ層の有無	備 考
			表土	下層土				
グライ土壌 粘土型	E-42	田	CL	L	なし	なし	なし	
灰褐色土壌年度質構造 マンガン型	G-61	田	L	SL	有り 24～43cm	なし	なし	

〔畑・その他土壌〕

土 壌 統 (区) 名	色 層 序	腐 植 層 序	礫 ・ 砂 礫 岩 層	土 性		母 材	備 考
				表 土	次 層		
只 見 統	YR (黒褐色)	—	—	SL	SL	非固結堆積岩	

◎梁取地区

〔水田土壌〕

土壌統(区)名	土壌番号	該当地目	土 性		泥炭及び黒泥 層の有無	砂礫層の 有無	グライ層の 有無	備 考
			表土	下層土				
礫層土壌 砂土河床型	J-92	田	L	SL	なし	有り	なし	
礫質土壌 壤土マンガン型	K-93	田	CL	CL	なし	なし	なし	

〔畑・その他土壌〕

土 壌 統 (区) 名	色 層 序	腐 植 層 序	礫 ・ 砂 礫 岩 層	土 性		母 材	備 考
				表 土	次 層		
黒 谷 統	YR (灰褐色)	—	—	L	SL	非固結堆積岩	

◎塩ノ岐地区(字間丸貝)

〔水田土壌〕

土壌統(区)名	土壌番号	該当地目	土 性		泥炭及び黒泥 層の有無	砂礫層の 有無	グライ層の 有無	備 考
			表土	下層土				
礫質土壌 壤土マンガン型	K-93	田	CL	CL/G	なし	有り	なし	
—	—	—	—	—	—	—	—	

〔畑・その他土壌〕 該当なし

土 壌 統 (区) 名	色 層 序	腐 植 層 序	礫 ・ 砂 礫 岩 層	土 性		母 材	備 考
				表 土	次 層		
—	—	—	—	—	—	—	

第2節 気 象

(1) 一般気象

観測所名： 只見観測所		かんがい期 5月～9月	非かんがい期 10月～4月	計	備 考
観測期間： H2年～R1年					
平均気温（℃）		21.0	5.5	10.0	
降水量（mm）	平 均	791.4	1,662.5	2,453.9	
	基 準 年	497.0	1,491.0	1,988.0	平成2年
降水日数（日）	平 均	54	161	167	
	基 準 年	43	153	196	平成2年
根 雪 期 間		- ～ -			記録なし
無 霜 期 間		～ 日間			記録なし
最 多 風 向		W	最大風速（m/s）	10.3	発生年月日：平成30年3月2日

観測所名： 南郷観測所		かんがい期 5月～9月	非かんがい期 10月～4月	計	備 考
観測期間： H2年～R1年					
平均気温（℃）		20.7	4.6	10.0	
降水量（mm）	平 均	654.3	892.1	1,546.5	
	基 準 年	441.1	791.0	1,232.0	平成2年
降水日数（日）	平 均	57	142	199	
	基 準 年	50	117	167	平成2年
根 雪 期 間		- ～ -			記録なし
無 霜 期 間		～ 日間			記録なし
最 多 風 向		NW	最大風速（m/s）	15.7	発生年月日：平成24年4月4日

(2) 特殊気象

観測所名 只見観測所 (H2～R1年資料)	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
観測期間	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日
最大日雨量 (mm)	430.0	平成23年7月29日	325.0	平成16年7月13日	251.0	平成29年7月18日	166.0	令和1年10月12日	156.0	平成17年6月28日
最大連続雨量 (mm)	606.0	平成23年7月27日 ～7月29日	470.0	平成16年7月10日 ～7月14日	328.0	平成29年7月16日 ～7月18日	272.0	平成22年12月20日 ～12月29日	261.0	平成6年12月2日 ～12月10日
最大連続干天日数 (日)	29	平成30年7月8日 ～8月5日	26	平成28年5月18日 ～6月12日	22	平成24年7月23日 ～8月13日	20	平成27年7月25日 ～8月13日	20	平成12年8月10日 ～8月29日

観測所名 南郷観測所 (H2～R1年資料)	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
観測期間	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日
最大日雨量 (mm)	161.5	平成29年7月18日	159.0	令和1年10月12日	134.0	平成16年7月13日	117.0	平成23年7月29日	116.0	平成17年6月28日
最大連続雨量 (mm)	358.5	平成23年7月23日 ～7月30日	239.0	平成27年9月3日 ～9月10日	239.0	平成16年7月16日 ～7月21日	213.5	平成29年6月30日 ～7月5日	208.0	平成18年7月9日 ～7月19日
最大連続干天日数 (日)	31	平成30年7月11日 ～8月10日	26	平成2年8月12日 ～9月6日	25	平成10年5月26日 ～6月19日	24	平成28年5月20日 ～6月12日	21	平成24年7月9日 ～7月29日

第3節 水利状況

(1) 用水状況

◎只見地区

本地区の用水源は只見ダムより放水される只見用水からの取水と溪流水を利用して供給されている。只見用水については安定的に供給されているが、溪流水については不安定である。地区内の用水路は素掘用水路と用排水兼用が多く、維持管理に多大な労力を費やしている状況にある。

◎梁取地区

本地区の用水は、一級河川伊南川を水源とし、梁取堰、森戸下堰、森戸上堰、田ノ口沢堰から取水し、かんがい利用している。ほ場整備済の地区だが老朽化により維持管理に支障を来たしている状況である。

◎塩ノ岐地区(字間丸貝)

本地区の用水は、一級河川塩ノ岐川を水源とし、間丸貝堰から取水し、かんがい利用している。施設の老朽化や人口減少により、維持管理に苦慮している状況にある。

(2) 排水状況

◎只見地区

本地区の排水は、地区内排水路から一級河川田ノ口沢川、一級河川只見川へ自然排水されているが、大雨時、地区外の溪流水により地区内の農地に排水被害が発生している。地区内排水路については用排兼用と多くが土水路で、維持管理に苦慮している状況である。

◎梁取地区

本地区の排水は、すべて一級河川伊南川へ自然排水するものである。

◎塩ノ岐地区(字間丸貝)

本地区の排水は、すべて一級河川塩ノ岐川へ自然排水するものである。

第4節 耕地面積

(1) 地区別 田、畑面積

地区名	水田面積 (ha)	一毛作田 (ha)	畑面積 (ha)	受益地内 (ha)			備考
				水田面積	一毛作田	畑面積	
只見地区	27.6	27.6	1.9	27.6	27.6	1.9	
梁取地区	50.3	50.3	3.3	50.3	50.3	3.3	
ただみ南地区	1.7	1.7	0	1.7	1.7	0.0	塩ノ岐字間丸貝
計	79.6	79.6	5.2	79.6	79.6	5.2	

(2) 土地所有の状況

地区名	所有別 区分	個人有	部落有	市町村有	国県有	計	備 考
只見地区	面 積 (ha)	30.5		6.0		36.5	
	受益者数 (戸)	121		1		122	
	筆 数 (筆)	614		474		1,088	
	権利関係(戸)	155		1		156	
	備 考						

地区名	所有別 区分	個人有	部落有	市町村有	国県有	計	備 考
梁取地区	面 積 (ha)	54.5		9.9	1.5	65.9	
	受益者数 (戸)	61				61	
	筆 数 (筆)	491		215	62	768	
	権利関係(戸)	83		1	1	85	
	備 考						

地区名	所有別 区分	個人有	部落有	市町村有	国県有	計	備 考
ただみ南地区	面 積 (ha)	1.7		0.5		2.2	塩ノ岐字間丸貝
	受益者数 (戸)	9				9	
	筆 数 (筆)	24				24	
	権利関係(戸)	34		1		35	
	備 考			法定外公共物 (用排水路)			

第5節 地域環境の概況

本地域は一級河川伊南川と尾瀬を水源とする一級河川只見川や田子倉湖など、水環境に恵まれた地域となっている。
地域周辺は会津朝日岳、浅草岳、蒲生岳など周囲を1,000m級の山に囲まれており、豊かな森林環境のなかで植物・小動物・野鳥・昆虫等、多種多様な生態系を有している。

第3章 維持管理計画

第1節 目的

当土地改良区は、県営ほ場整備事業「只見地区」「梁取地区」「塩ノ岐地区(字間丸貝)」を一定区域とする。

地区内の土地改良施設については、通常の維持管理の範囲内においては各地区(農家及び非農家で構成される多面的機能支払交付金事業の活動組織等)が行い、通常の維持管理の範囲では対応困難な事故や災害等が発生した場合には、只見町と協議し対応策を講じるものとする。

第2節 かんがい施設関係

(1) かんがい施設の種類、規模、構造及び維持管理方法

(ア) 用水路

水路名	延長 (m)	通水量 (m ³ /s)	水路規格		主要構造物	受益面積 (ha)	維持管理の方法	新設年又は 更新年	備 考
			材質	断面					
只見用水	2,470	0.068	現場打ちコンクリート	B2500 H1000	洪水吐	18.0	通常の通水管理・草刈り・土砂 上げは地区で実施	平成3年	地区内のみ
小用水路 (只見)	6,936	0.003～0.034	鉄筋コンクリート ベンチリュウム	BF300～BF350	分土工 落差工等	24.3	通常の通水管理・草刈り・土砂 上げは地区で実施	令和5年度以降 施行予定	地区内のみ
小用水路 (梁取)	475	0.004～0.012	鉄筋コンクリート ベンチリュウム	BF300～BF400	分土工 落差工等	0.7	通常の通水管理・草刈り・土砂 上げは地区で実施	令和5年度以降 施行予定	地区内のみ
管水路 (梁取)	4,760	0.39481	塩ビパイプ	VUφ100 ～VUφ500	止水弁、空気 弁 排泥弁等	38.8	通常の通水管理は地区で実施	令和5年度以降 施行予定	地区内のみ
小用水路 (ただみ南)	123	0.0283	鉄筋コンクリート ベンチリュウム	BF400	分土工 落差工等	1.7	通常の通水管理・草刈り・土砂 上げは地区で実施	令和10年度以 降 施行予定	塩ノ岐 字間丸貝
計	14,764					83.5			

(イ) 井 堰 (頭首工)

番号	井堰名	所在地	取水河川名	湧水量 (m^3/s)	構 造			取水量 (m^3/s)		受益面積 (ha)	維持管理 の方法	新設年又は 更新年	備 考
					形式	堤長 (m)	堤高 (m)	代掻期	普通期				
	大赤沢堰	大字只見字大赤沢	大赤沢川		コンクリート	13.0	1.4	0.133	0.128	6.0	地元に委託	不明	只見地区
	梁取堰	大字梁取字城下	伊南川		コンクリート	114.8	2.5	0.233	0.192	40.0	地元に委託	不明	梁取地区
	田ノ口沢堰	大字梁取字田ノ口沢	田ノ口沢川		コンクリート	—	—	0.006	0.004	1.1	地元に委託	不明	梁取地区
	森戸下堰	大字梁取字森戸沢	森戸沢側		コンクリート	8.5	1.0	0.245	0.235	12.0	地元に委託	不明	梁取地区
	井戸沢堰	大字梁取字庄右門林	井戸沢川		コンクリート	2.7	0.8	0.008	0.006	1.5	地元に委託	不明	梁取地区
	間丸貝堰	大字塩ノ岐字東山	塩ノ岐川		コンクリート	16.5	2.3	0.028	0.012	3.0	地元に委託	不明	ただみ南地区

(ウ) ため池

番号	ため池名	所在地	集水地及び面積(k㎡)	構 造			有効貯水量(m³)	受益面積(ha)	維持管理の方法	新設年又は更新年	備 考
				形式	堤長(m)	堤高(m)					
	森戸池	大字梁取字森戸	0.4	アースダム 表面遮水壁型	105.0	1.5	700	8.0	地元に委託	昭和44年	梁取地区

(エ) 揚水機場

番号	揚水機名	所在地	水源及びその状況	揚水機			原動機			全揚程(m)	揚水量(m³/s)	受益面積(ha)	建物等の付属設備	維持管理の方法	新設年又は更新年	備 考
				種類	口径(mm)	台数(台)	種類	能力(kw)	台数(台)							
	田ノ口 揚水機場	大字只見字下田ノ口	只見用水	取水ポンプ	150	1	モーター	15	1	15.6	0.048	3.0	なし	地元に委託	平成26年	
	梁取揚水機場	大字梁取字城下	梁取堰 取水用水	揚水ポンプ	200 ×150	1	モーター	11	1	6.1	0.071	4.0	なし	地元に委託	令和4年	

(2) 配水の時期及び方法

配水施設名	取水施設	配水期間別取水量 (m ³ /s)		年間総取水量(千m ³)	配水方法	備 考
		代掻期	普通期			
大赤沢堰	頭首工	0.019	0.013	136.6	明渠による自然灌漑	只見地区
只見用水	用水路	0.065	0.046	481.4	明渠による自然灌漑	只見地区
田ノ口沢揚水機場	揚水機場	0.009	0.006	63.2	明渠による自然灌漑	只見地区
梁取堰	頭首工	0.170	0.123	1,350.3	明渠による自然灌漑	梁取地区
田ノ口沢堰	頭首工	0.007	0.005	55.0	明渠による自然灌漑	梁取地区
森戸下堰	頭首工	0.011	0.008	87.8	明渠による自然灌漑	梁取地区
井戸沢堰	頭首工	0.009	0.006	66.4	明渠による自然灌漑	梁取地区
間丸貝堰	頭首工	0.010	0.008	87.6	明渠による自然灌漑	ただみ南地区

(3) かんばつ時における処置

水不足が生じた場合は、各用水路の水量の適正調整を行い、無効通水がないように細心の注意を払うものとする。

さらに、かんばつ状況が悪化した場合には、移動用臨時ポンプ等により排水路等の反復利用を行うとともに用水の統制を強化し、節水を呼びかけるものとする。

(4) 他の農業水利団体との関係

該当なし

(5) 制裁規定

本区域内の施設に損害を及ぼした場合は、過失の度合いによらず原則原因者負担により原形に復旧させる。

また、水質に害を与えた場合についても、その一切の被害補償については原因者が負うものとする。

なお、各個人の営農活動により、ほ場の片掛口及び落水口等に破損が発生した場合は、個人の過失の度合いにより修理費の一部もしくは全額について原因者が負担するものとする。

第3節 排水施設関係

(1) 排水施設の種類、規模、構造及び維持管理方法

水路名	延長 (m)	排水量 (m ³ /s)	勾配	構造	断 面			主要構造物	受益面積 (ha)	維持管理 の方法	新設 年又は 更新	備 考
					上幅 (m)	側法 勾配	深さ (m)					
小排水路	7,348	7.005	1/150～1/300	WH排水溝	300～ 900	—	300～ 900	落差工・合流工	36.5	地区により 維持管理を実施	R5以降 新設	只見地区
小排水路	8,982	7.183	1/200～1/300	WH排水溝	300～ 500	—	300～ 500	落差工・合流工	65.9	地区により 維持管理を実施	R5以降 新設	梁取地区
小排水路	321	1.035	1/300	WH排水溝	300～ 500	—	300～ 500	落差工・合流工	1.7	地区により 維持管理を実施	R10以降 新設	ただみ南地区

(2) 排水の時期及び方法

受益地内の支線排水路及び小排水路の維持管理及び異常気象時等の際の監視、巡回については、地区(農家及び非農家で構成される多面的機能支払交付金の活動組織等)により実施する。

降雨・降雪期及び異常気象発生時には、堰からの取水を中止し、災害の発生防止に努める。

(3) 洪水時における処置

上記により異常出水した際は、地区により取水口のゲートや用水吐等の操作をすることで、土地改良施設への被害防止を図る。

(4) 他の農業水利団体との関係

干ばつ・洪水時共に只見町との連携を密にすると共に地域消防団等との連携を図り、用排水の円滑化並びに農地防災に努めるものとする。

第4節 その他農用地の保全又は利用上必要な施設関係

(1) 維持管理の方法

地区内の土地改良施設については、通常の維持管理の範囲内においては各地区(農家及び非農家で構成される多面的機能支払交付金事業の活動組織等)が行い、通常の維持管理の範囲では対応困難な事故や災害等が発生した場合には、只見町と協議し対応策を講じるものとする。

第5節 他の事業との関係

(1) 他種水利事業（発電、工業、上水道等）との関係
該当なし

(2) 森林、運輸、漁業 との関係
該当なし

(3) 当土地改良区の維持管理事業と治水との関係
該当なし

(4) 地区外上流部又は区域内の住宅工場地域からの汚水の流入状況及びその影響

只見地区、梁取地区、塩ノ岐地区いずれも大規模な住宅地や工場等がなく、上記事項についての直接の影響は無いと思われるが、定期的に水路及び各施設の監視点検を行うものとする。

なお、不慮の事故が発生した場合には、速やかに関係機関と協議し対策を講じるものとする。

(5) その他当土地改良区と外的環境との関係
該当なし

第4章 環境との調和への配慮

事業実施にあたっては、周辺環境への負荷・影響を可能な限り回避・低減するとともに、地域の個性及び特性を尊重し、周辺の環境と調和した保全管理を図る。あわせて、只見ユネスコエコパークに指定されている豊かな自然環境を十分配慮し、事業実施前には只見ユネスコエコパーク推進事務局への意見照会や必要に応じた助言をもらう等、連携を図る。

第5章 維持管理費

単位:千円

種別 施設	通常の維持管理費	補修費	運転費	計	備考
用排水路	48	0	0	48	令和6年度多面的機能支払 交付金・中山間地域等直接 支払交付金活動実績 上段:只見地区(直払) 中段:梁取地区(多面・直払) 下段:塩ノ岐地区(直払)
	750	0	0	750	
	876	0	0	876	
井堰 (頭首工)	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	100	0	0	100	
農道	0	0	97	97	
	0	0	0	0	
	120	0	0	120	
揚水機場	0	0	97	97	
	6	0	407	413	
	0	0	0	0	
計	48	0	97	145	
	756	0	407	1,163	
	976	0	0	976	

第6章 事業効果

県営土地改良事業により造成された施設の維持管理を計画的に行うことにより、施設の持つ機能・効用を発揮させ、水管理の適正化・労力の節減など、農業経営の合理化と農業生産の増大が図られる。

第7章 他事業との関連

関連事業名	地区名	施工年度	本地区との関連	備考
該当なし				

第8章 添付図面

- (1) 土地改良区区域位置図
別途参照

只見町土地改良区区域位置図

S=1:25000

